

牧志駅前ほしぞら公民館



〒902-0067 那覇市安里 2-1-1
TEL 917-3443 FAX 867-0343

利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	収容人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	150人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	50人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	20人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	20人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台 (4台)、料理用器具等)
パソコン室	50人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	30人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	20人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年 4月 4日	公民館の施設提供が開始された。
5月8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年 4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成 2年 4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成 9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年 4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年 3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年 3月 4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成27年 9月 5日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数10万人達成する。
平成28年 4月 1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年 4月 1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和 2年 4月 1日	館長 田端研二退職に伴い、館長 末吉雪乃が発令された。
令和 4年 1月27日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数20万人達成する。
令和 5年 4月 1日	館長 末吉雪乃配置替えにより、館長 富村奈央が発令された。

Ⅱ 令和6年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

1	学習風景（写真）	187
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
◇	沖縄戦 摩文仁での壮絶な体験を語る ～平和のために今できること～	188
◇	あなたもアーティストデビュー！台湾在住県出身の美術家とアートパネルをつくろう！！	189
◇	今から始める！ステキなカッコいい自分作り！！～ウォーキングから学ぶetc.～	190
〔2〕	成人講座	
◇	星のソムリエ 星空案内人になろう！	191
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
◇	シニアのための 初めて触る！ スマートフォン体験講座	192
◇	ハッピーシニアライフ！	193
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
◇	世界に一つだけのオリジナル漆喰シーサーづくり	194
◇	キラキラ輝く絵画（お絵かき）教室	195
◇	ニュースポーツ体験	196
〔2〕	青年講座	
◇	自分磨きを楽しもう！	197
〔3〕	親子ふれあい教室	
◇	親子星空教室	198
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
◇	宇宙の学校	199
〔2〕	乳幼児学級	
◇	百人百様の子育て！ら・ら・ら♪	200
◇	楽しく学ぶ！笑顔で子育てができるコツ！！	201
◇	子育てマグカップCafe with 満天プラネタリウム	202
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
◇	～銘苅地域をもっと楽しもう～達ちゃんと巡る！銘苅探訪	203
〔2〕	プラネタリウム事業	204
◇	星と音楽のコラボ「星と風のプラネタリウムコンサート」	205
◇	プラネタリウム たなばた投影	206
◇	夏休み天体観察会	207

◇惑星観察会	208
◇ほしぞら達人になろう 初級編	209
◇星空の魅力発見～玉城で星空観察～	210
◇に一ぶいか一ぶい 熟睡プラ寝たリウム	211
◇星と音楽のコラボ「イタリア☆星の旅」	212
◇みみの日特別投影「字幕つきで星を楽しもう」	213
7 公民館まつり	214
◇牧志駅前ほしぞら公民館まつり特別企画 「プラネタリウムおまつり投影」	218

1 学習風景



市民講座

「あなたもアーティストデビュー！台湾在住県出身の美術家とアートパネルをつくろう！！」



高齢者学級

「ハッピーシニアライフ！」



少年教室

「ニュースポーツ体験」



家庭教育学級

「宇宙の学校」



乳幼児学級

「子育てマグカップ Cafe with 満天プラネタリウム」



プラネタリウム事業

星と音楽のコラボ「星と風のプラネタリウムコンサート」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		沖縄戦 摩文仁での壮絶な体験を語る ～平和のために今できること～							
事業概要		戦争体験者のお話を聴き、改めて平和の有難さを感じ、平和のために今できる事を考える機会とする。							
現状・課題		戦争体験を語る方の高齢化により、直接話を聞く機会は減ってきている。また、過去の戦争、現在外国での戦争を知っていても他人事として捉えてる人が多いのではないかな。							
事業目的 めざす姿		平和の有難さを感じ、平和のために今できることを考える市民の育成を図る。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人（3年生以下は保護者同伴）							
募集人数等		定員 50人 申込 39人 参加延べ人数67人 【申込率78%・参加率134%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	6月9日（日）	14:00 ～ 15:40	ほしぞら公民館ホール	67	-	-	-	
内容	01	第1部：講話 喜屋武幸清氏による、戦争体験を通して、平和へのメッセージ 第2部：朗読 絵本の朗読「マブニのアンマーおきなわの母」（朗読を楽しむ会） 合唱 「月桃の花」他（那覇少年少女合唱団） 展示：写真展示「沖縄戦・原爆展」（原爆展を成功させる会） 平和関連絵本展示（牧志駅前ほしぞら図書館）							
講 師	喜屋武 幸清（戦争体験語り部）								
【講座の様子・感想】									
・沖縄戦で壮絶な体験をしたのだなと苦しくなった。 ・伝える責任、復興を支えた気概も感じて、先輩方に感謝しかない。 ・朗読、合唱と構成も良かった。合唱の子達が歌う姿にいろんな形で平和を願う気持ちが伝えられていると思った。 ・今生きている日常がどれだけ幸せなことか改めて感じた。 ・平和や命の大切さを息子と考えていきたいなと思った。 ・平和が続くよう頑張って沖縄戦を伝えたい。 ・アンケート結果（満足度）100%									
【成果】									
・改めて平和の有難さを感じ、平和のために今自分にできることを考える機会になったことがうかがえる。 ・もっと多くの人に参加してほしいと感想があり、広報に工夫が必要である。									



2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		あなたもアーティストデビュー！ 台湾在住 県出身の美術家とアートパネルをつくろう!!								
事業概要		アートパネルを制作し、7月20日～28日“画廊沖縄”にて、8月末から“那覇文化芸術劇場なは一と”にて開催される主催事業において、受講者が制作されたアートパネルも作品の一部として展示を行う。 展示終了後、希望者は自身が制作されたアートパネルを持ち帰ることができ、自宅でも楽しめるようにする。								
現状・課題		現在私たちは、少子超高齢化問題をはじめ、環境や人権問題、さらに貧困問題、人間関係の希薄化など様々な社会問題を抱えるなかで日々を過ごしている。そのため、心身の健康を維持することの大切さを痛感している。一般的にアートや劇場は特別なもの（ところ）と感じられているが、芸術に触れることにより心がおだやかになり、リラクゼーション効果も得られることから今回はそのことを体感し、心身の健康を保つ一助とする。								
事業目的 めざす姿		敷居が高いと感じてしまう“アート”“劇場”を身近に感じ楽しめるよう、普段接する機会の少ない美術家とワークショップを通じて交流を行うことにより、アートとの出会いや感動を体験する。また、公民館・劇場・市民・民間機関が連携・協働することにより”人・まち・文化”をともに育み、文化・芸術活動を通じて心豊かに生活し、多様な価値観に触れる機会とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の全回参加できる人								
募集人数等		定員 50人 申込 59人 参加延べ 90人 【申込率118%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月30日(日)	13:30	～	15:30	ほしぞら公民館 ホール	43	5	38	0
	02	7月7日(日)	13:30	～	15:30		47	5	42	0
内容	01	台湾に関する図書、風習、文化、食べ物等の紹介、パーツづくり								
	02	アートパネルの制作								
講 師		胡宮 ゆきな（美術家） 【助手】阿部 乳坊（彫刻家）								
【講座の様子・感想】 ・受講者が未就学児から70代まで、各年代の市民がつどい学んだ。 ・なじみのあるお花紙がアート作品につながることに驚いていた。 ・「色の組み合わせで花に個性が生まれるのが楽しかった。台湾と沖縄の風習を合わせる発想に触れることができてよかった。」「海外で活躍するアーティストから学べるとても貴重な場でした。参加者とも交流しながらの作業はとても楽しく有意義でした。皆さんの作品と一緒に展示会場に飾られるのが楽しみ。」等の感想が寄せられた。 【アンケート結果（満足度）100%】										
【成果】 ・映像で目にした異文化に、多少なりとも理解することができた。 ・アーティストや市民同士、さらに、公民館、那覇文化芸術劇場なは一と、民間機関との交流で協働することの楽しさを実感できた。 ・定員を超えたことにより、広報の仕方は適切であった。 ・市民講座らしく、対象者が未就学児から70代まで幅広い世代の申込があった。 ・“なは一と”、“画廊沖縄”での展覧会には、受講者の来館もありアートを身近に感じる事ができた。										





2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		今から始める！ステキなかつこいい自分づくり!! ～ウォーキングから学ぶ etc.～							
事業概要		人生100年時代の今、市民の健康意識の向上を図るため、いつでも！どこでも！気軽に始められる「ウォーキング」を取り入れ、日常生活に活かせる“疲れない歩き”や“歩くためのカラダ作り”等を学び、自身の健康づくりに取り組むきっかけづくりと、「ひやみかち なはウォーク2024」への参加を推進し、「ウォーキング」の楽しさや魅力を体感し、健康で生き生きと暮らせる機会とする。							
現状・課題		本市の健康における現状・課題は、がん・心疾患・脳血管疾患の死亡率が高く、特に働き盛り世代では全死因の約7割が生活習慣病に起因する疾患となっている。①男性の2人に一人は肥満。②働き世代の健診受診率が低い。③健診を受けず、重症化している。④若い世代の喫煙率が高い。多量飲酒が多い。～健康な21（第2次）より～							
事業目的 めざす姿		日常生活の中でのウォーキングに対する意識の変化や、歩くためのカラダ作りを学び、市民の健康意識の向上と、いつまでも元気に自分の足で歩ける市民を育てる。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人で、医師から運動制限を受けていない人。							
募集人数等		定員 30人 申込 33人 参加延べ 79人 【申込率110%・参加率66%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	10月4日(金)	18:30 ～ 20:30	ほしぞら公民館 ホール	23	5	18	0	
	02	10月11日(金)	18:30 ～ 20:30		17	3	14	0	
	03	10月18日(金)	18:30 ～ 20:30		20	3	17	0	
	04	10月25日(金)	18:30 ～ 20:30		19	2	17	0	
内容	01	「疲れない歩きとは？」 ロッカーファンクション、重心移動など							
	02	「リズムと歩行」 裏拍、地面反力、腕振りなど							
	03	「コアストレッチ歩行」大腰筋とは？							
	04	「歩くためのカラダ作り」身体にある機能“伸張反射”“アーチ”“背骨の湾曲”など							
講 師	花城 伸治（FeelLight Fit 代表トレーナー/体軸体操指導者）								
【講座の様子・感想】									
・10代から80代までの受講者が集い、講師のユーモアあふれる講話や実践に明るく和やかな雰囲気の中で進められた。 ・人骨モデルを使用しての講話に、自身の体の仕組みについて理解が深まった。 ・「バランス、重心移動、外股など、今まで気にしたことがない事をやっていると、スタスタと歩けるようになった気がする」、「短期間でたくさんの知識が学べて良かった。とてもわかりやすかった」等の感想が寄せられた。 【アンケート結果（満足度）89%】									
【成果】									
・「これからの生活に活用したい」等の声もあり、企画内容としては、目的達成の手段として合致できた。 ・定員を超えたことにより、広報の仕方は適切であった。 ・対象者は、市民講座らしく10代から80代まで幅広い世代の市民が受講した。 ・最高齢の受講者の受講理由が「孫との家族旅行で歩くから」との事もあり、事業のめざす姿が垣間見れた。 ・講座の途中から、マイカー通勤から徒歩に切り替えた受講者もあり、いち早く行動変容が見られた。									
									



2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		星のソムリエ 星空案内人になろう								
事業概要		星と宇宙の基礎知識、望遠鏡の原理や使い方、星空案内を行う際の楽しみ方や注意点を学び、実際に地域等で活躍する星空案内人としての人材を育てる。								
現状・課題		昨今では、沖縄国頭村が「星空保護区」を目指す等、沖縄において星空案内ツアー等の需要が非常に高まっている。沖縄の星の魅力をさらに拡大していけるように、「プラネタリウムのある公民館」として、県都那覇に位置する牧志駅前ほしぞら公民館で「星空案内人」の講座を開設する。								
事業目的 めざす姿		星の魅力を伝える人としてスキルアップできるような講座を開設し、牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム事業や星空案内のボランティアとして活動できる人材を育てる。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の16歳以上の人 ※那覇市外枠（定員の1割）								
募集人数等		定員 20人 申込 59人 参加延べ 130人 【申込率295%・参加率81%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月8日(土)	18:00	～	20:00	ほしぞら公民館 第一学習室	20	8	12	0
	02	6月15日(土)	18:00	～	20:00		15	8	7	0
	03	6月22日(土)	18:00	～	20:00		19	8	11	0
	04	7月6日(土)	18:00	～	20:00		16	6	10	0
	05	7月20日(土)	18:00	～	20:00		15	8	7	0
	06	7月27日(土)	18:00	～	20:00		16	6	10	0
	07	8月10日(土)	18:00	～	20:00		16	7	9	0
	08	8月24日(土)	18:00	～	20:00		13	5	8	0
内容	01	さあ、はじめよう								
	02	星の文化に親しむ								
	03	望遠鏡のしくみ								
	04	望遠鏡を使ってみよう								
	05	星座を見つけよう								
	06	宇宙はどんな世界								
	07	星空案内人の実際								
	08	認定式・閉講式								
講 師		①②⑦⑧田端研二（天文普及家） ③④米原英樹（宇宙少年団名護分団長） ⑤垣花正男（元プラネタリウム操作技師） ⑥福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】										
・楽しく勉強させていただきました。これからも、星に対する興味を持ち、楽しむことを学べて良かったです。ボランティアもできるだけやりたいです。 ・望遠鏡の使い方がわかって、買う際に参考になるし、星を探し、観察するのが楽しみになりました。 ・グループワークでイベントの企画をするのは、新しい発見があってよかった。 ・アンケート結果（満足度） 100%										
【成果】										
・20名の受講生のうち、15名が星空準案内人の資格を取得することができた。 ・受講生の経験値によっては難しい内容ではあったため、今後講座の内容や伝え方について工夫が必要。										





3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		シニアのための 初めて触る！ スマートフォン体験講座							
事業概要		スマートフォンの特徴を理解し、実際に体験してもらう事で、各々の必要な情報を得る手段として、また、コミュニケーションツールとして、日常生活に潤いを与え充実させるツールになる事を知り、情報格差解消の一助とする。							
現状・課題		那覇市民のためのデジタルリテラシー向上支援が必要である。							
事業目的 めざす姿		高齢者がスマートフォンを日常生活に取り入れて、情報を得る手段として、また、コミュニケーションツールとして活用する。							
対 象		那覇市在住・在勤・在学で60歳以上の人（各回定員20人×6回）							
募集人数等		定員 120人 申込 162人 参加延べ 94人 【申込率135%・参加率78%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	5月28日(火)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館 パソコン室	18	6	12	0	
	02	6月6日(木)	10:00 ～ 12:00		19	5	14	0	
	03	9月10日(火)	10:00 ～ 12:00		16	3	13	0	
	04	10月8日(火)	10:00 ～ 12:00		14	3	11	0	
	05	11月12日(火)	10:00 ～ 12:00		16	7	9	0	
	06	12月10日(火)	10:00 ～ 12:00		11	4	7	0	
内容	01	ガラケーとスマホの違いやスマホならではの楽しみ方。LINEや音声アシストの実体験（貸出機使用） ※全6回同じ内容							
講 師		スマホアドバイザー（ソフトバンク株式会社より派遣）							
【講座の様子・感想】 ・とても役に立った。まだ充分でないのでまた受講する機会が欲しい。 ・分かりやすく説明して下さいありがとうございます。 ・メールを文字で送れるようになりたいと思っていたが、マイクのできるので便利。 ・アンケート結果（満足度）88.6%									
【成果】 ・DX推進室の事業協定を活用することで、報償費負担なく、多く開催できた。 ・定員以上の応募があり、興味関心、必要性を感じている方が多い事が伺える。 ・講師以外にも他の4人のスタッフが付き、1人1人丁寧に対応していた。 ・体験し更に興味を持たれた方が多く、復習講座への希望者も多く、実際参加し、学びを続けているようであった。									







3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		ハッピーシニアライフ！							
事業概要		60代以降も自分らしく健康で生きられるための講義を全4回で行う。 1. 健康長寿のための栄養指導 2. 日常生活を楽にするための健康体操 3. 残りの人生を憂いなく過ごすための終活講座 4. 大きい声を出してストレス発散							
現状・課題		定年退職後の世代には生きがい作りが重要である。公民館の定期サークルはその支援となりうるが、参加者は年々減少している。高齢者の幸福度を上げるためには、公民館の利用やサークル参加へのきっかけづくりをすることが必要である。							
事業目的 めざす姿		高齢者の体力増強や健康長寿への寄与、ストレス発散の機会を設け、活力にあふれ自分らしく生きられる体を作ることを目的とする。							
対 象		那覇市在住・在勤の60歳以上で、医師から運動制限を受けていない人							
募集人数等		定員 80人 申込 80人 参加延べ 232人 【申込率100%・参加率73%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	11月1日(金)	13:00 ～ 15:00	ほしぞら公民館 ホール	61	8	53	0	
	02	11月8日(金)	13:00 ～ 15:00		54	9	45	0	
	03	11月15日(金)	13:00 ～ 15:00		52	8	44	0	
	04	11月22日(金)	13:00 ～ 15:00		65	12	53	0	
内容	01	健康長寿の秘訣を保健師に伺う							
	02	理学療法士の指導の下、無理のない体操で背筋を伸ばし日常生活を楽にする							
	03	これまでの人生をふり返り、残りの人生を楽しむための終活講座							
	04	オペラ歌手から腹式呼吸を学び、大きな歌声でストレス発散する							
講師		①新里一将（健康増進課主任保健師） ②知花俊吾（理学療法士） ③東恩納寛寿、三木邦子（終活カウンセラー） ④喜納響（テノール歌手）							
【講座の様子・感想】									
・いろいろ講座を受けましたが一番最高！一番楽しかった！体も軽くなりウキウキ最高！参加してほんとによかった ・4回という講座はとてもよかった。テーマも生活に合っていて為になった。 ・アンケート結果（満足度）93%									
【成果】									
・各回ともアンケート結果（満足度）が高かったため、企画内容は対象者の学習ニーズに沿っていたものであると考える。 ・先着80名で募集したが、期間内のうちに定員に達したので、広報の仕方はおおむね適切であった。 ・対象者のうち男性参加率が低かったため、内容か周知方法にさらに工夫が必要。 ・講座終了後に定期サークル一覧をもらいに来る人が多く、サークル見学者も増えたため、生きがいづくりに公民館を利用してもらおうというねらいに寄与できた。									





4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		世界に一つだけのオリジナル漆喰シーサーづくり						
事業概要		本県には、様々な表情のシーサーが鎮座している。その中でも“漆喰シーサー”は、やちむんシーサーとは違った独特な表情がある。その漆喰シーサーづくりを通して、子どもたちの創造力を引き出し、自由に制作させることにより表現力豊かな感性を磨く場を提供する。						
現状・課題		今の子どもたちは、外遊びが減り、室内での遊び（テレビ・ビデオ・コンピューターゲームなど）が中心となり、体験活動の機会が減少している。今のこの時代には、いかに体験活動に興味をもたせ、成功や失敗などを通して創造力や判断力、社会性などを身につけるかが課題である。						
事業目的 めざす姿		漆喰シーサーは、廃材を再生させた先人たちの知恵から生まれた文化といえる。首里城火災で赤瓦も破損したが、材料の一部に首里城火災で焼け残った瓦を使うことにより、これからを担う子どもたちへ沖縄の文化や物づくりへの興味関心を高める。						
対 象		那覇市在住・在学の小学生から中学生（※9歳以下は保護者同伴）						
募集人数等		定員 40人 申込 83人 参加延べ 68人 【申込率208%・参加率82%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月3日(土)	13:00 ～ 15:00	ほしぞら公民館ホール	68	29	39	0
内容	01	沖縄の歴史や文化、漆喰シーサーについて学び、実際に制作を行う						
講 師	宮城 光男（シーサー藝術家/沖縄シーサー協会 会長） 【助手】香村 達也（シーサー職人）							
【講座の様子・感想】 ・定員をはるかに超える申し込みであったが、講師と調整し全員を受け入れて開催した。 ・会場全体が熱気に包まれ、受講者のほとんどが漆喰の扱いにとまどいながらも感性豊かな作品ができあがった。 ・児童からは、「こんなにもシーサーづくりは大変なんだなーとわかりました」の感想。 ・保護者からは、「伝統を重んじる文化にふれることができ、とても感銘しました。親子で受けられるのもうれしいです」等の感想が寄せられた。 【アンケート結果（満足度） 87%】 【成果】 ・すべて自分で制作する企画内容に、目的達成の手段としては最適であった。 ・定員をはるかに超える申し込みに、広報の仕方は適切であった。 ・対象者も、9歳以下は保護者同伴にすることで全員が完成させることができた。 ・自由に制作させたことにより、親子での会話や色々な工夫も見られ、当事業の目指す姿になった。 ・親子で物づくりへの興味関心、さらに沖縄の歴史や文化に興味を持ち、親から子へと伝える様子が見られた。								





4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		キラキラ輝く絵画（お絵かき）教室								
事業概要		創造、表現や技法を学び、自由な創作を通して絵の楽しさを感じてもらう。								
現状・課題		図画工作や美術の授業だけでは、子どもたちが水彩画の技法を学んだり、創意工夫をする楽しさを感じる時間が足りない。								
事業目的 めざす姿		絵を描くことに正解はなく、のびのびと自由に楽しんで描いていいと知り、子どもがその体験から視野の広がりや自己肯定感を高める一助とする。								
対 象		那覇市在住・在学の小学校2年～6年生								
募集人数等		定員 16人 申込 33人 参加延べ 16人 【申込率206%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月4日(日)	13:00	～	16:00	ほしぞら公民館ホール	16	6	10	0
内容	01	1、水彩画の技法を学ぶ。デカルコマニー・スパッタリングなど 2、習った技法を組み合わせ自分の作品を創る。（コラージュ） 3、作品の披露・講師から総評・感想をもらう。								
講 師	江谷綾子（紋クリエイティブオフィス代表）【助手】國吉雅									
【講座の様子・感想】 ・自分の思い通りには作れなかったけど、いい作品ができた。 ・絵具でいろんなことができてすごかった。 ・スタッピングが楽しかった。 ・自由な発想で絵を描くことを感じてくれたらよかったと思った。 (大人) ・アンケート結果（満足度）84% 										
【成果】 ・「自由でいい」「絵に上手、下手はない」との講師の声掛けに、子ども達は、3時間、創作活動を楽しみ、最後には自分の作品を創り上げ、キラキラ笑顔で自分の作品を披露していた。 ・保護者から、気になる子どもの行動の相談があり、子どもの絵を通して、アドバイスする場面もあり、子どもたちの自己肯定感を上げる一助になったと思われる。 										



4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		ニュースポーツ体験							
事業概要		ニュースポーツの体験を通して、新しいことにチャレンジする達成感を味わう。 また異世代が集う集団の中で、安全に楽しむためにルールやマナーを守る大切さを体験する。							
現状・課題		安心安全な場所で、子どもが自由に遊べる場所が少ないうえ、学校やクラブ活動以外での異年齢と交流できる機会が少ない。また、公民館の利用について、知らない人が多い。							
事業目的 めざす姿		子どもたちの安心安全な場所としての公民館を知ってもらい、今後の利活用につなげる。 夏休みの活動、体験の思い出づくりの機会とする。							
対 象		那覇市在住・在学の子どもと保護者（３年生以下は保護者同伴）							
募集人数等		定員なし 参加延べ 121人							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	8月8日(木)	13:00 ～ 16:00	ほしぞら公民館ホール	121	-	-	0	
内容	01	ラダーゲッターや輪投げ、フライングディスクやチャンバラ、昔遊びの工作などを、ルール、マナーを守りながら楽しく遊ぶ。							
講 師		與座正夫（沖縄県スポーツチャンバラ協会代表）							
【講座の様子・感想】 ・チャンバラが、点を取ったり取られたり楽しかった。 ・特にみんなと遊べるスポーツが楽しかった。 ・また来たいと思った。 ・工作や輪投げといろいろ楽しかった。 アンケートなし									
【成果】 ・混みあってきた場合の対応策として、水分補給とトイレ休憩を入れ、そのタイミングで、次の団体を案内した。 ・人気のチャンバラも、ルールを教え、時間制限を設けることで、ヒートアップ対策につながった。 ・つきそいで来た保護者に安全管理のお手伝いをお願いしたことで、昨年に比べて参加者は増えたが落ち着いた印象だった。 ・昨年に引き続き近隣の小学生や、去年参加した児童デイの子達も参加し、障がいをもった子、そうでない子も一緒に夏休みの楽しい体験の機会になったと思う。									



4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		自分磨きを楽しもう！							
事業概要		・青年期に必要な資産形成の基礎知識を学ぶ。 ・継続しやすい健康な体作りの筋トレを学び、日常に取り入れる。 ・簡単でおしゃれなおもてなし料理を学ぶことで、食への関心や食を通してのコミュニケーションや心の豊かさを学ぶ機会とする。							
現状・課題		資産形成を学校で学んでいない世代へ、人生100年時代を老年期まで健康で、経済的にも安心して楽しく過ごすための学びの場が必要。							
事業目的 めざす姿		人生100年時代を老年期まで健康で、安心して楽しく過ごすために、青年期に合った課題、資産形成やライフプラン、健康な体づくり、料理を仲間と一緒に楽しく学ぶ機会を提供する。							
対 象		那覇市在住・在勤の20代・30代の人							
募集人数等		定員 12人 申込 13人 参加延べ 23人 【申込率108%・参加率64%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	11月2日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館 第1学習室	10	2	8	0	
	02	11月9日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール	5	1	4	0	
	03	11月16日(土)	10:00 ～ 13:00	ほしぞら公民館実習室	8	2	6	0	
内容	01	青年期に必要な資産形成の知識を学ぶ。ライフプラン・NISAなど							
	02	ボディメイク、健康で楽しく過ごすための身体作りを実践をまじえ学ぶ							
	03	簡単おしゃれなおもてなし料理の調理実習と試食							
講 師		①慶田城裕 (FP) ②知花俊吾 (理学療法士) ③新垣知香 (おうちごはん研究家)							
【講座の様子・感想】 ・毎回私たち世代の気になる内容の講座で大満足できた。 ・40代になっても受講したいので、40代向けもあったらいい。 ・講座中は、質問したり、熱心にメモを取ったり、最終回では、受講生同士の会話も弾んでいた。 ・アンケート結果(満足度)100%									
【成果】 ・忙しい世代の方たちが、時間のやりくりをして参加してくれた。 ・資産形成や体づくりもこれからも取り組んでいきたいと前向きであった。 ・内容は良かったけれど、毎週の参加は厳しいとの声も多かったので、単発や、月1回開催など、工夫が必要。 ・広報は、チラシや市民の友への掲載、館のHPで行ったが、Instagramなどでの発信もして欲しいとの声もあった。									







4 青少年対象事業

〔3〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子星空教室								
事業概要		小学校高学年の児童とその保護者を対象とし、親子で楽しく星空について学び、親子のふれあいの場とする。								
現状・課題		小学校高学年になると精神的に自立を始める時期で、一緒に学び過ごす時間が少なくなってくる。								
事業目的 めざす姿		天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に親子のコミュニケーションを深める。								
対 象		那覇市在住・在学の小学校4年生から6年生とその保護者								
募集人数等		定員 30人 申込 30人 参加延べ 108人 【申込率100%・参加率72%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月5日(土)	16:00	～	18:30	ほしぞら公民館第一学習室 ・プラネタリウム	23	13	10	－
	02	11月9日(土)	18:00	～	20:00	ほしぞら公民館第一学習室 ・ベランダ	20	12	8	－
	03	12月7日(土)	16:30	～	18:30	ほしぞら公民館第一学習室	26	13	13	－
	04	1月11日(土)	16:30	～	18:30	ほしぞら公民館パソコン室	17	11	6	－
	05	2月1日(土)	16:30	～	18:30	ほしぞら公民館 プラネタリウム	22	14	8	－
内容	01	開講式・宇宙について・夏と秋の星座（プラネタリウム）								
	02	望遠鏡の仕組みと使い方								
	03	四季の星座について								
	04	工作（星座早見盤作成・使い方）								
	05	修了式・冬と春の星座（プラネタリウム）								
講 師		①福里美奈子（プラネタリウム操作技師）②田端研二（天文普及家） ③垣花正男（元プラネタリウム操作技師）④玉城奈々（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】										
受講者の声（保護者） ・子供と過ごす時間を取れてよかった。 ・非常に内容の濃い講座で実際に星も見れて感動しました。親子で参加でき家族で楽しめた。										
受講者の声（児童） ・星のことを知ることが、とても楽しく感じた。 ・アンケート結果（満足度） 94%										
【成果】 ・講座の後に親子で星を眺めるようになった。 ・講座以外の日に、プラネタリウム投影を観覧したなど、家族で星という共通の楽しみができたようだった。 ・親子ふれあい講座としての役割を果たせたと同時に、プラネタリウムや星空に対する興味を持ってもらえた。										

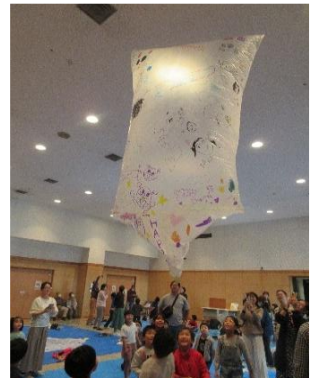


5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		宇宙の学校							
事業概要		宇宙や自然科学をテーマにした実験・工作・課題学習を行う事で、好奇心や冒険心を豊かに備えた創造的な子どもを育てることをねらいとし、また保護者に、家庭教育に関する学習機会を提供し教育力の向上もねらいとする。							
現状・課題		子どもの発達段階に応じた学習プログラムの提供や、親の視点、子の視点など、多方面から家庭教育について考えていく必要がある。							
事業目的 めざす姿		親子で実験や観察に取り組み、親子のコミュニケーションの充実と子どもの興味関心を大切に、引き出す関わりを学び、家庭で取り組む学習のレポート作成を通して、学びを家庭に取り込む。							
対 象		那覇市在住・在学の小学校1～3年生と保護者							
募集人数等		定員 80人 申込 90人 参加延べ 329人 【申込率113%・参加率82%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	7月20日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール	64	22	42	0	
	02	8月24日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール	72	24	48	0	
	03	9月28日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール ・プラネタリウム	76	33	43	0	
	04	10月26日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール	60	18	42	0	
	05	11月30日(土)	10:00 ～ 12:00	ほしぞら公民館ホール	57	31	26	0	
内 容	01	開講式・かさ袋ロケットを作って飛ばそう・風見鶏							
	02	ホバークラフトを作って走らせよう							
	03	プラネタで宇宙を学ぼう・プチプラネタリウムを作ろう							
	04	ゲームをしながら水について学ぼう							
	05	熱気球を作って飛ばそう・レポート発表・閉校式							
講 師		①並木道義（KU-MA子ども・宇宙・未来の会会長）①②⑤田端研二（KU-MA会員）③福里美奈子・玉城奈々（プラネタリウム操作技師）④藤井晴彦（那覇市立森の家みんみん代表）							
【講座の様子・感想】									
・宇宙の学校に参加する事で、子どもが色々な事に興味を持つようになった。 ・遊びながら学んでいけるので、飽きずに参加させることが出来て良かった。 ・アンケート結果（満足度）100%									
【成果】									
・開校式にKU-MAの並木先生がZoomで宇宙のお話をしてくれ、子どもたちは目を輝かせ、「月はどうやってできたの」「ビッグバーンについて」など、興味を持って質問をしていた。 ・どの回も、楽しみながら、積極的に課題に取り組んでいた。 ・保護者の感想からも、子どもたちの好奇心やチャレンジする意識が芽生え、家庭学習のレポートも家族で取り組んだり、親子の会話が増えたりと、家庭教育力の向上にもつながったと感じた。 ・幼児向けや高学年向けも実施して欲しいという要望もあり、関心の高さがうかがえた。									





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		百人百様の子育て！ら・ら・ら♪							
事業概要		未就学児を子育て中の人を対象に多種多様な学びを提供し、親（保護者）が心にゆとりをもちながら子育てができ、いきいきと親も子も健やかに成長できるように、よりよい親子関係づくりと家庭の教育力向上の一助とする。							
現状・課題		子育ての費用や子育て支援はどのくらい得られるのか、さらに子育てと仕事の両立、子育てがどちらかに偏ってしまわないか等、親が直面する子育ての悩みはつきないのが現状である。それらの不安を保育や教育の充実で取り除くことが課題と考える。							
事業目的 めざす姿		子育て中であっても、学びを止めることなく、社会とつながり、同じ子育て中の人々との情報共有や新たなコミュニティづくりなど、子育てが楽しくなる環境を整える。							
対 象		那覇市在住・在勤の0歳～未就学児を持つ子育て中の人							
募集人数等		定員 14人 申込 14人 参加延べ 30人 【申込率100%・参加率71%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	9月3日(火)	10：00 ～ 12：00	ほしぞら公民館 パソコン室	11	2	9	0	
	02	9月17日(火)	10：00 ～ 12：00		9	2	7	0	
	03	9月24日(火)	10：00 ～ 12：00		10	2	8	0	
内容	01	美文字4つのポイント、ペン文字の基本（基本点画）について							
	02	美文字ポイントの復習、フォトフレームへ子どもの写真と名前書き							
	03	乳幼児のケガや応急処置（胸骨圧迫法やAEDの使い方、熱中症、異物除去など）							
講 師		①②新里 利浩（日本結書協会 代表） ③大宜見 大地・浜崎 都南（那覇市消防局 救急課）							
【講座の様子・感想】									
・初回の自己紹介では、自身の子育てで体験（利用）して良かったこと等を話し、皆で共有するなど、温かい雰囲気の中での進行であった。 ・「美文字など静かに集中して行うものは託児があると安心して参加でき、リフレッシュにもなった。気になっていた誤嚥の対応も習うことができて良かった。」「託児がついていたので久しぶりにゆっくり自分の学びを深めることができた。大人と会話できてリフレッシュになった」等の感想があった。 ・アンケート結果（満足度）80%									
【成果】									
・一般的に、子育て中は自分時間を確保することが難しいと言われていた中、目的達成の手段として企画内容は合致していた。 ・定員に達していることから、広報の仕方は適切であった。 ・夫婦での参加も見られたことから、今後はさらに多くの夫婦での参加を促す。 ・子育て中であっても、学ぶことはできるということを提供することができた。 ・前半の自分時間とは打って変わり、最後の応急処置では、積極的に質問を行い、実践では集中して取り組むなど親としての使命が感じられた。									





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		楽しく学ぶ！笑顔で子育てができるコツ!!						
事業概要		未就学児を子育て中の人を対象に多種多様な学びを提供し、親（保護者）が心にゆとりを持ちながら子育てができ、いきいきと親も子も健やかに成長できるように、よりよい親子関係づくりと家庭の教育力向上の一助とする。						
現状・課題		子育ての費用や子育て支援はどのくらい得られるのか、さらに子育てと仕事の両立、子育てがどちらかに偏ってしまわないか等、親が直面する子育ての悩みはつきないのが現状である。それらの不安を保育や教育の充実で取り除くことが課題と考える。						
事業目的 めざす姿		子育て中のパパの使命とママの使命、そして、「笑顔」がもたらす色々なメリットを学び、これからの子育てに活かし、わが子に「生き抜く力」を身につけさせる。						
対 象		那覇市在住・在勤で子育て中の人（プレパパ、プレママ、祖父母の参加可）						
募集人数等		定員 50人 申込 23人 参加延べ 15人 【申込率46%・参加率30%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月12日(土)	10：00 ～ 12：00	ほしぞら公民館 ホール	15	5	10	0
内容	01	那覇市の子育て支援サービスについて・笑顔で子育てができるコツ3選など						
講 師	玉那覇 敦也（NPO法人ファザーリングジャパン沖縄支部 支部長）、崎山 未来（ら・ら・らステーション 主査）							

【講座の様子・感想】

・ユーモアを交えたパパ経験者の講話に、受講生は納得感を得た。
 ・各部署との協働で、本市の子育て支援を周知することができた。
 ・「これからの子育てが始まる予定ですが勇気をもらえた。子供にとって一番大切なことは両親が笑顔でいてくれることだということを忘れない」、「引っ越しのため、もう那覇市のサービスが受けられないのが残念。本当に沖縄県一だと思います。他市町村にも広がってくれますように」等の感想が寄せられた。

・アンケート結果（満足度）91%



【成果】

・アンケートから今回の学びを前向きに捉える声が多かったことから、企画内容は目的手段と合致していた。
 ・定員に達していないことから、今後の広報の仕方は改善する必要がある。
 ・対象者を子育てに関わるすべての人（祖父母等）に設定したことにより、講話はわかりやすく、家族（チーム）での子育てに特化したものであった。
 ・濃い内容をサクサクと進行し、それをポジティブに捉えさせ、会場に笑顔が広がったことは本事業が目指す姿に少なからず近づいた。



5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		子育てマグカップCafe with 満天プラネタリウム							
事業概要		講師の体験談等を交えながら、これまでの子育てをパートナーと振り返り、お互いの気持ちや価値観などを認め合い、さらに、これからの子育てについてパートナー同士でゆっくり語り合い、自分たちにあった子育てを同じ目線でできるよう関係性を高める。また、日頃の子育ての疲れをプラネタリウムで癒してもらい、しばらく続く子育てを子どもの健やかな成長のために協力できるようリフレッシュする時間を提供する。							
現状・課題		子育てをするうえでパートナーとの日常的なコミュニケーションは不可欠だが、仕事や家事との両立のなかで時間を作ることはなかなかできないのが現実である。2人で話す時間をあえて提供することで価値観や気持ちなど話し合いをしやすい関係づくりの手助けを目指す。							
事業目的 めざす姿		子育て世代がこれまでの子育てを振り返り、パートナーへ素直な気持ちを正直に伝え、褒めあい、これからの子育てを笑顔でできるような後押し、きっかけづくりとする。							
対 象		那覇市在住・在勤の0歳～未就学児を子育て中の人とそのパートナー（プレママ・パパ参加可）							
募集人数等		定員 38人 申込 24人 参加延べ 22人 【申込率63%・参加率58%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	3月8日（土）	10：00 ～ 12：00	ほしぞら公民館ホール ・プラネタリウム	22	11	11	0	
内容	01	【1部】講話・ワークショップ 導入「子育てに関する動画の視聴」「笑顔の子育ての講話」 ティータイムとワーク「今までの子育てを写真を見ながら2人で振り返り、手紙を交換し合う」 【2部】プラネタリウム観覧							
講 師	玉那覇敦也（NPO法人ファザーリングジャパン沖縄支部支部長） 福里美奈子（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】 ・夫婦でゆっくり話す時間がとれていなかったもので、子供が寝たあととかではなく、昼間にゆっくり話せてよかった。 ・父親目線の子育てイベントは本当に少ないので今後こういったイベントがあれば参加したい。 ・アンケート結果（満足度）100%									
【成果】 ・講話、ワークショップ終了後に笑顔で会話する姿や、手をつなぐ夫婦もみられた。 ・1組あたりの託児人数の制限を設けなかったことで参加できた受講者も多かった。 ・公民館の講座を初めて受講した方が70%以上だった。子育て支援センターや保育園に配り歩くなどの対応をしての申込人数だったので、特に若い人へはSNSなどを使った周知の工夫は引き続き課題である。									





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

事業名 タイトル		銘苧地域をもっと楽しもう ～達ちゃんと巡る！銘苧探訪～								
事業概要		銘苧地域をよく知り、子どもたちに“ふるさと銘苧”を伝えたいと定期的に地域の学校教員等に向けて地域巡りを行っている前原氏を講師に迎え、米軍住宅跡地につくられた新しいまち那覇新都心の一画“銘苧地域”に焦点をあて、現地を歩きながら銘苧地域の歴史や宝物を学ぶ。								
現状・課題		現代は、少子超高齢化社会や都市化、生活様式などを背景に、住民一人ひとりの地域や社会とのつながりが希薄化し、社会的に孤立し制度の狭間に立たされている人が多くなるなど、地域の課題は多様化・複雑化している。								
事業目的 めざす姿		戦後80年の節目を迎えた今でも、全国の米軍専用施設の約70.3%が集中している本県。今や、さまざまな商業施設や文化施設・公園などが並び人気エリアの新都心地区ではあるが、過去にはその土地も強制接収され、米軍の施政権下におかれてきた。今回、そのような地域の歴史も踏まえながら、地域にある宝物を知り“自分のふるさと”として愛着や、地域と人がつながるきっかけづくりとする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人で歩くことに支障がない人 ※小学生は保護者同伴とする								
募集人数等		定員 25人 申込 42人 参加延べ 21人 【申込率168%・参加率84%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	3月22日(土)	10:00	～	12:00	銘苧地域（なは市民協働プラザ）	21	9	12	0
内容	01	銘苧地域の史跡など、9地点を講師の解説とともに探訪する。								
講 師	前原 信達（銘苧新都心自治会 会長）									
【講座の様子・感想】										
・天候に恵まれ、和やかな雰囲気の中で探訪することができた。 ・なは市民協働プラザの屋上から見下ろす新都心地域に、米軍住宅地として広大な土地が占拠されていたことに驚きの声があがった。 ・「説明もわかりやすく、大きな学びになった。地元のことをよくご存じの前原さんのガイドで良かった。」、「自分の生まれた土地でした。70年ぶりの銘苧でした。ありがとうございました。」等の感想が寄せられた。										
・アンケート結果（満足度） 95%										
【成果】										
・地域資源（宝物）の大切さを参加者同士で共有し、理解を深めることができた。 ・自らの足で歩くことにより発見することの楽しさを体感し、それが健康づくりにつながる等プラスアルファの成果があった。 ・申込開始3日目には定員に達し、その後もキャンセル待ちでの申込みが続く等、広報の仕方は適切であった。 ・受講者が小禄地区以外すべての地区からあり、自分の住むまちへの愛着が感じられた。 ・当講座で学んだことを“早速、孫にも伝える”という受講者や、講師に“銘苧在住である”ことを伝え、今後もつながる意思を伝える等の行動変容が見られた。										





6 その他の事業

〔2〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与え続けてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育んでもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観覧料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人160円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分 (幼児番組は約40分) (学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定員】 1回の投影で84名まで。
- 【休演日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影30分前に観覧料を納付
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
(1) 本市内の団体 観覧しようとする日の4月前の日の属する月の初日
(2) 本市外の団体 観覧しようとする日の3月前の日の属する月の初日
- 【プラネタリウム投影の一覧】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。
- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
 - ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
 - ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
 - ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい想い」
 - ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
 - ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	一般
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	一般				

☆繁忙期(7月、那覇市立小学校の夏・秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	16:30
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	



6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		星と音楽のコラボ「星と風のプラネタリウムコンサート」								
事業概要		息を吹き込む管楽器の生演奏で夏の爽やかな風を感じながら、夏の星空の投影を楽しんでもらう。								
現状・課題		慌ただしく過ごす日々の現代において、ゆっくりと星を眺める時間はなかなか取れない。 プラネタリウムは情操教育の場として活用されており、癒しの場としての期待も大きい。 生演奏に合わせて星を観覧することで、ヒーリングの時間を届けることができる。								
事業目的 めざす姿		星と音楽のコラボレーションを企画することで、観覧者へ癒しの時間を提供するとともに、プラネタリウムや星に親しむきっかけとする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学者で小学生以上の人（小学生は保護者同伴）								
募集人数等		定員 136人 申込 344人 参加延べ 118人 【申込率253%・参加率87%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月15日(土)	16:00	～	16:50	ほしぞら公民館 プラネタリウム	60	-	-	-
	02	6月15日(土)	17:30	～	18:20		58	-	-	-
内容	01	心地よい木管五重奏の演奏を聴きながら、夏を感じる海、山、夏の星座を観覧する。								
	02									
講 師		有松栞・吉村寛子・岩田友希江・大野岳弘・高良尚子・岩田剛（大度室内楽団）								
【講座の様子・感想】										
参加者の声										
・ドームに響く木管楽器のやさしい音色と満天の映像がとても心地よかった。 ・解説やお話がとても面白かった。星空もとてもよかった。また企画してほしい。 ・アンケート結果（満足度） 98%										
										
【成果】										
・プラネタリウムイベントに初参加した人が60%近くもおり、プラネタリウムや公民館に親しむきっかけとなった。 ・投影スケジュールや投影チラシの配布も行い、次回来館してもらおうというねらいに寄与できた。 ・今回も、申込者が定員を大きく上回りアンケート結果から市民が楽しみにしている企画であることがわかった。										
										



6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		プラネタリウム たなばた投影								
事業概要		星を題材としたストーリーを楽しむ七夕の時期に、星空や宇宙に興味・関心を持ってもらい、観覧者がプラネタリウムを親しめる機会とする。								
現状・課題		那覇市内では街明かりが多く、実際天の川等を観察できる機会が日常生活にほとんどない。								
事業目的 めざす姿		七夕にまつわるお話に出てくる天の川や星座等をプラネタリウムに投影し、天の川や夏の大三角等について楽しみながら学習してもらえる機会とする。								
対 象		どなたでも観覧可								
募集人数等		定員 420人 申込 414人 参加延べ 414人 【申込率99%・参加率99%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月6日(土)	13:30	～	14:10	ほしぞら公民館 プラネタリウム	83	-	-	0
	02	7月6日(土)	15:00	～	15:40		81	-	-	0
	03	7月6日(土)	16:30	～	17:10		83	-	-	0
	04	7月7日(日)	13:30	～	14:10		84	-	-	0
	05	7月7日(日)	15:00	～	15:40		83	-	-	0
内容	01	幼児～小学校低学年向け 「かめっちとぺんた～ ほしぞらはおおさわぎ～」								
	02	幼児～小学校低学年向け 「かめっちとぺんた～ ほしぞらはおおさわぎ～」								
	03	幼児～小学校低学年向け 「かめっちとぺんた～ ほしぞらはおおさわぎ～」								
	04	幼児～小学校低学年向け 「かめっちとぺんた～ ほしぞらはおおさわぎ～」								
	05	幼児～小学校低学年向け 「かめっちとぺんた～ ほしぞらはおおさわぎ～」								
講 師		福里美奈子、玉城奈々（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】										
・5回公演すべてほぼ満席となり、大盛況となった。 ・前半はプラネタリウム操作技師による生解説を行い、後半は「かめっちとぺんた」のアニメーションを楽しみながら、歌を歌ったり、手拍子を叩いてファミリーで楽しめる様子がみられた。										
【成果】										
・広報は「市民の友」だけでなく、ラジオでの広報も行い、5回公演全てほぼ満席で大盛況であった。 ・街明かりが多く星空観察が難しい那覇で、七夕に関連する星座や天の川を投影することで、より七夕が身近に感じられるきっかけになった。										



6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		夏休み天体観察会								
事業概要		夏休みの時期にプラネタリウムで星座、月、惑星の見方を学び、天体観察を親しむきっかけとする。								
現状・課題		夜の時間帯、親子で一緒にできる活動が少ない。また、夜空を見上げても、どんな星なのかわからず、定期的に見上げる意欲に繋がらない。								
事業目的 めざす姿		プラネタリウムで星座、月、惑星の見方を学び、覚えた天体を実際に観察するとともに、親子の会話が増えるきっかけづくりの場を提供する。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学者 ※中学生以下は保護者同伴								
募集人数等		定員 50人 申込 67人 参加延べ 63人 【申込率134%・参加率94%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月19日(金)	19:00	～	20:30	ほしぞら公民館 プラネタリウム ・ベランダ	63	-	-	-
内容	01	前半：プラネタリウムで星座、月、惑星の解説 後半：ベランダで月を観察								
講 師	福里美奈子、玉城奈々（プラネタリウム操作技師）									
【講座の様子・感想】 ・キャンセルもなく、たくさんの方が参加してくれた。 ・ベランダ観察会では、雲の合間から月を望遠鏡で観察する事ができた。 ・初めて月を望遠鏡から見た人も多く、感動して何度も観察していた。 										
【成果】 ・予約をオンライン申請システムへ変更した際に設定がうまくいかず定員を超えてしまったが、ボランティアスタッフを増員して申込者全員を受入して実施できた。 ・プラネタリウム観覧と天体観察会とをセットにすることで、天候不良でもキャンセルの心配がなく、また後日晴れた日に自宅で観察ができるので良かった。 										

6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		惑星観察会							
事業概要		惑星が良く観察できる11月にプラネタリウムで星座、月、惑星の見方を学び、天体観察を親しむきっかけとしたい。							
現状・課題		夜の時間帯、親子で一緒にできる活動が少ない。また、夜空を見上げても、どんな星なのかわからず、定期的に見上げる意欲に繋がらない。							
事業目的 めざす姿		プラネタリウムで星座、月、惑星の見方を学び、覚えた天体を実際に観察することで、親子の会話が増えるきっかけとしたい。遠く離れた惑星を実際に観察することで、地球や宇宙への興味関心を高める機会とする。							
対 象		どなたでも参加可 ※中学生以下は保護者同伴							
募集人数等		定員 50人 申込 56人 参加延べ 56人 【申込率112%・参加率112%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	11月1日(金)	18:30 ～ 20:00	ほしぞら公民館 プラネタリウム ・ベランダ	56	0	0	-	
内容	01	前半：プラネタリウムで星座、惑星の解説 後半：ベランダで望遠鏡から惑星を観察する。							
講 師	福里美奈子、玉城奈々（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】 ・キャンセルもなく、たくさんの方が参加してくれた。 ・ベランダ天体観察会では金星と土星を観察した。 ・感激して何度も列に並んで惑星を観察する親子が数組いた。 									
【成果】 ・天体観察会はとても人気があり、すぐに定員に達した。 ・当日キャンセルもなく、申込者が楽しみにしていたと感じた。 ・電話申込だと繋がらない事も多く応募者が困っていたが、オンライン申請だとスマホなどで応募が簡単にできるので申込がしやすくなったと思う。また事前に、開催案内をメールで送れるので事務の効率も上がった。 									

6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		ほしぞら達人になろう 初級編								
事業概要		星空案内人フォローアップ講座として、当館やプラネタリウムに親しんでもらいボランティア等の活動の際のスキルアップを図る。また、星に興味がある一般市民にも学習の場を提供する。								
現状・課題		星空案内人講座の後にフォローアップが公民館としてなかなかできていない。								
事業目的 めざす姿		星空案内人が公民館とのつながりを持つことで、星空案内のボランティア活動を行うきっかけづくりとする。また、星に興味のある受講者が身近な人たちに星の案内ができることを目的とする。								
対 象		星空案内人講座の受講者、星空案内に興味のある那覇市在住・在勤・在学者で高校生以上の人								
募集人数等		定員 30人 申込 33人 参加延べ 33人 【申込率110%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	無回答
	01	10月19日(土)	17:00	～	19:00	ほしぞら公民館 プラネタリウム	33	7	15	11
内容	01	秋から冬にかけての星空案内のコツを学び、星空案内の疑問に答える								
講 師		福里美奈子 (プラネタリウム操作技師)								
【講座の様子・感想】 ・ 学びの多い講座であった。 ・ 回数を増やして頂きレベルアップしていただけるとありがたい。 ・ 案内人の講座でなくても星の勉強ができる講座があるといいと思った。 アンケート結果（満足度） 97%										
【成果】 ・ 基礎的な内容を中心に学習し、身近な人たちに簡単に案内できる知識は習得できたと考えられる。 ・ チラシを見た参加者が最も多かったが、星空案内人講座受講後に、足が遠ざかっていた受講者へメールで周知することで、久しぶりに公民館に来館した参加者が数名おり、星空案内人が公民館とつながるきっかけづくりというねらいに寄与できた。										

6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		星空の魅力発見～玉城で星空観察～							
事業概要		街明かりから離れた位置にある「玉城青少年の家」の特性を生かし、「玉城青少年の家」と那覇市牧志駅前ほしぞら公民館との共催事業として、星空観察会を行う。月と土星、木星を観察し、形や模様等の特徴を学ぶ。							
現状・課題		那覇市内は、高いビルが立ち並び、街明かりが明るいため、星空観察の場所としてはあまり適していない。							
事業目的 めざす姿		街明かりが少なく、空が大きく開けた安全な場所で星空観察することで、都心では見ることのできない星空を観察し、参加者に星空観察の楽しさを味わってもらう。							
対 象		小学生のいる家族等の小グループ							
募集人数等		定員 40人 申込 101人 参加延べ 24人 【申込率253%・参加率60%】							
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	11月8日(金)	19:30 ～ 22:00	玉城青少年の家	24	-	-	0	
内容	01	南部の高台、玉城青少年の家新館の屋上から天体望遠鏡を使って夜空を観察しよう！ 月と土星と木星をはっきりくっきり観察しよう！							
講 師	田端研二（天文普及家） 【助手】 福里美奈子、玉城奈々（プラネタ操作技師）								
【講座の様子・感想】									
・ 望遠鏡の使い方も知れたし、土星、木星、月が見えたので、楽しかった。 ・ とてもきれいな星を見れてうれしかった。 ・ アンケート結果(満足度) 100%									
【成果】									
・ 開催日当日は悪天候で、実際に観察ができるか心配であったが、講座後半には雲の隙間から木星や土星、月、カシオペア座等を観察することができ、観察会の目的を達成することができた。 ・ 学校で学ぶことのない望遠鏡の使い方を学び、さらに天文学への興味関心を深めるきっかけになった。									





6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		にーぶいかーぶい 熟睡プラ寝たリウム						
事業概要		明石天文科学館が主催する全国規模のイベントで全国的にも人気が高いイベントである。勤労感謝の日の時期に合わせ、プラネタリウムでくつろぎながら眠ることで日頃の疲れを癒してもらう。						
現状・課題		通常、プラネタリウムでは緩急を付けたりと観覧者が飽きないように、眠らないようにと工夫をしているが、プラネタリウムで眠ってみたいという要望もあり、いつもと違ったプラネタリウムを楽しむことができる。						
事業目的 めざす姿		参加者がプラネタリウムで心地よい眠りを味わえるような解説を行う。音楽や映像にも工夫を凝らし、勤労感謝の日に相応しい癒しの投影を行うことで、ぐっすりあるいはうとうとと心と身体を休めてもらう。						
対 象		那覇市在住・在勤・在学の小学生以上（小学生は保護者同伴）						
募集人数等		定員 140人 申込 140人 参加延べ 107人 【申込率100%・参加率76%】						
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月24日(日)	15：00 ～ 15：45	ほしぞら公民館 プラネタリウム	57	－	－	0
	02	11月24日(日)	16：30 ～ 17：15		50	－	－	0
内容	01	【解説】瞑想で導くほしのせかい						
	02	【解説】星のストーリーを聞きながらぐっすり						
講 師		福里美奈子、玉城奈々（プラネタリウム操作技師）						
【講座の様子・感想】 ・非日常な体験ができて良かった。リラックスできた。 ・次は時間を長くしてもいいと思う。 ・体が休めたし、お話もよかった。うとうとするくらいでちょうど良かった。 ・アンケート結果（満足度）94% 								
【成果】 ・アンケートで眠れたと回答した割合が84%だったが、話が面白くて眠れなかったという意見もあった。 ・音楽や間の取り方を工夫してプラネタリウムでゆったりと過ごすことで、日頃の疲れを癒してもらい、事業のねらいを達成できた。 ・申し込みはどちらも満席となったが、オンラインで簡単に申し込みができるために、連絡なしのキャンセルもあった。 ・小学生以上としたので、ほぼ静かな環境でイベントの成果を感じたが、昨年と比べて小学生の参加割合が少なかったため、ぬいぐるみなどを持ってくる参加者は少なかった。								



6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		星と音楽のコラボ「イタリア☆星の旅」								
事業概要		いつも見ている沖縄の星空から離れてヨーロッパから見える冬の星空、そして神話を紹介し、それらに合う声楽を取り入れ、クリスマスの音楽やオペラを満天の星を眺めながら鑑賞してもらう。								
現状・課題		慌ただしく過ごす日々の現代において、ゆっくりと星を眺める時間はなかなか取れない。プラネタリウムは情操教育の場として活用されており、癒しの場としての期待も大きい。 生演奏に合わせて星を観覧することで、ヒーリングの時間を届けることができる。								
事業目的 めざす姿		星と音楽のコラボレーションを企画することで、観覧者へ癒しの時間を提供するとともに、プラネタリウムや星に親しむきっかけとする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の人（小学生は保護者同伴）								
募集人数等		定員 150人 申込 361人 参加延べ 138人 【申込率241%・参加率92%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月22日(日)	15:30	～	16:20	ほしぞら公民館 プラネタリウム	72	-	-	-
	02	12月22日(日)	17:30	～	18:20		66	-	-	-
内容	01 02	声楽・トランペット・ピアノの演奏に合わせ、ヨーロッパの星空、神話を楽しむ								
講 師	喜納響（テノール歌手）、木村義郎（トランペット奏者）、金城吏美（ピアノ奏者）									
【講座の様子・感想】 ・贅沢な時間をありがとうございました。演奏とプラネタリウム良いコラボだと思う。今後もこのような企画をお願いします。（70代） ・プラネタリウムと演奏が聞けてとても良かった。オペラは初めて聞いたけどすごい迫力だった。また聞きたいです。（小学生） アンケート結果（満足度） 100%										
【成果】 ・生演奏の迫力、そして星や宇宙の表現がうまくマッチしていた。 ・課題としてアンケートの記入漏れが多かったことがあり、薄暗いドーム内でもよく見えるように、そして手持でも書き易いように、表記を工夫したい。 ・1部・2部とも殆どの方が裏面の感想欄いっぱい使って喜びを記入されており、癒しの時間を提供するというねらいを達成できた。										



6 その他の事業

〔2〕プラネタリウム事業

事業名 タイトル		みみの日特別投影「字幕つきで星を楽しもう」								
事業概要		聴覚障がい者でも楽しめるプラネタリウムを行う。手話や字幕付きで星の解説や、宇宙の映像を見て、視覚のみでも楽しんでもらう。								
現状・課題		プラネタリウムにはヒアリンググループ（聴覚支援システム）を設置しているが、これまでに来館した聴覚障がい者へ投影後の感想を聞くと、「星はキレイだが、内容がわからなかった」と聞く。プラネタリウムは基本的には健聴者向けになっており、聴覚障がい者が利用するにはハードルが高いようである。								
事業目的 めざす姿		障がいの特性に配慮した投影を実施することで社会的なバリアを取り除き、誰でも楽しめるプラネタリウムを提供する。								
対 象		聴覚障がい者・付添い2人まで同時申込み可 ※小学生以下は保護者同伴								
募集人数等		定員 84人 申込 84人 参加延べ 84人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	3月9日(日)	15:00 ～ 16:00		ほしぞら公民館 プラネタリウム	84	-	-	0	
内容	01	字幕付き星空解説、神話、宇宙旅行								
講 師		玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）								
【講座の様子・感想】 ・とっても良かった。今まで音声だけで分からないまま、見るだけで面白くなかった。字幕があって本当に良かった。（聴覚障がい者50代） ・プラネタリウムは今まで何回か見てるけど、今回のように内容を知る事ができなかった。今日はすごく良かった。素敵な企画をありがとうございます！（聴覚障がい者30代） ・アンケート結果満足度 100%										
【成果】 ・事前予約では51人の方から申し込みがあった。オンライン申請システムの操作方法が分からず申し込めない方も複数いたが、当日席で案内を行い、満席となった。 ・当日の受付方法、観覧注意事項を全て文字で表示した事で、スムーズに運営ができた。 ・アンケートの裏面の感想欄に、字幕付きで楽しめた事、家族一緒に楽しめた事が書かれており、企画して良かったと感じた。										



7 公民館まつり

第12回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり

公民館まつり風景

☆ 作品展示の部 ☆



☆ 舞台の部 ☆



☆ 社交ダンスパーティー ☆



第12回

牧志駅前ほしぞら公民館まつり

牧志駅前ほしぞら公民館で活動する、さまざまな団体・サークルが日頃の活動の成果を発表します！この機会に、お気軽にお越しください。

展示発表 1/27 月 2/9 日

【前半】1月27日(月)～2月2日(日)。
【後半】2月3日(月)～2月9日(日) 場所:ロビー。
○絵画 ○写真 ○クラフト工芸 ○洋裁 ○折り紙。
○生け花 ○書道・ペン字 ○俳句。

舞台発表 2/8 土 2/9 日

8日(土)13:00～17:00。
9日(日)13:00～17:10 場所:ホール。
○合唱 ○ダンス ○大正琴 ○民謡 ○三線 ○箏
○太極拳 ○ハーモニカ ○手話 ○腰鼓 ○胡弓 ○ウクレレ。

体験教室 2/8 土 2/9 日

第1学習室・第4学習室・実習室・ロビー。
○パソコン ○囲碁 ○将棋 ○食育。
○お茶会(茶道) ○ブクブク茶。
○ズンバ ○フォークダンス。

社交ダンスパーティー

3/1 土 16:00～19:00。
場所:ホール。
一緒に踊りましょう♪。

プラネタリウム

2/8 土 2/9 日

8日(土)13:30/15:00/16:30。
9日(日)13:30/15:00。
場所:プラネタリウム。

※詳細は別紙チラシまたはHPをご確認ください。

2/8 土

おはなし会

ほしぞら図書館。
プレゼンツ。

目でみることばとたのしもう！手話つきおはなし会。
8日(土)11:00～11:30。
場所:第4学習室。

※詳細は別紙チラシまたはHPをご確認ください。

主催:牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会。

(お問い合わせ)。

牧志駅前ほしぞら公民館。

那覇市安里2丁目1番1号(さいおんスクエア3F)。

TEL 098-917-3443。



展示発表

【前半】1月27日(月)～2月2日(日)

出展団体: 水彩画サークル 星空、百の会

9時～21時(ロビー)

※前半、後半とも最終日は17時まで

【後半】2月3日(月)～2月9日(日)

出展団体: アートセッション、フレンド、トコフルール、Nの会、全日本写真連盟沖縄支部、
折りづる、ゆうな会、ふみづき書道、水色の会、おれづみ旬会、ほしぞらパソ
コンサークル、グルッパモノクロ、草月クラブ、月書会



体験教室

■ 食育体験(しまな一会)
10時～12時(実習室)

■ 将棋体験
(那覇将棋サークル・小樽将棋サークル)
9時～12時(ロビー)

2/8 土

■ ブクブク茶の淹れ方体験
(沖縄伝統ブクブク茶保存会)
14時～16時(実習室)
参加費: 500円

■ 囲碁体験(なは一基会)
13時～16時30分(ロビー)

■ フォークダンス(せせらぎ FDC)
13時～15時(第1学習室)

2/9 日

■ パソコンでマイカレンダー作り
(あした葉会)
10時～12時(実習室)
■ お茶会(徒然会)
14時～16時(実習室)
参加費: 500円

■ ズンバ(Fun Fun Zumba・ほしぞら
Disco World)
11時～12時(第1学習室)

プラネタリウム

2/8 土 ☆観覧無料☆

■ おきなわの昔ばなしと星
13時30分/15時00分
■ 高校天文部が解説に挑戦!
16時30分

2/9 日

■ ほしぞらあそび
13時30分
■ 月にはだれがすんでいるの?
15時00分

2/8 土

おはなし会

ほしぞら図書館職員による

8日(土) 11時～11時30分(第4学習室)

■ 目でみることばとたのしもう! 手話つきおはなし会

図書館職員による手話つきのおはなし会
簡単なあいさつ手話なども教えます!



3/1 土 社交ダンスパーティ

(星空ダンスサークル・ファンタジーダンスサークル)

1日(土) 16時～19時(ホール)

初心者向けのステップダンスもあります
一緒に踊りましょう!

* Nahappy crew の友情出演あり

第12回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり

舞台発表プログラム

場所：ホール

2月8日(土)13時～17時



内容	出演団体名	開始時間
☆ 開会	牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 委員長	13:00
1 大正琴	響琴の会	13:10
2 日舞	ばらの会	13:20
3 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ ルア・リコ	13:30
4 バトン	ほしぞらバトン	13:40
5 詩吟	光世流吟会	13:50
6 ダンス	ほしぞらDisco World	14:00
7 ズンバ	Fun Fun Zumba	14:10
☆ 休憩	休憩 ～ 14:30	
8 斉唱	ギターでうたごえinほしぞら	14:30
9 民謡	那覇市婦連民謡研究会	14:40
10 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ ロケラニ	14:50
11 合唱	うまんちゅ混声合唱団	15:00
12 合唱	アンサンブル・コッカーラ	15:10
13 ウクレレ	ウクレレサークルヒビバ	15:20
14 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ ケ・アラ オルオル	15:30
15 民謡	かりゆし沖縄民謡クラブ	15:40
☆ 休憩	休憩 ～ 16:00	
16 朗読	朗読を楽しむ会	16:00
17 オカリナ	オカリナサークル「ボコアボコ」	16:10
18 民謡	はいひずかすの会	16:20
19 ヒップホップ	Nahappy crew	16:30
20 手話	はと手話の会	16:40
21 サックス	サックス同好会	16:50
☆ 閉会		17:00

※プログラムに変更がある場合があります。ご了承ください。



2月9日(日)13時～17時10分



内容	出演団体名	開始時間
1 大正琴	沖縄等正会	13:00
2 大正琴	難波流大正等すみれ	13:10
☆ 開会の言葉	牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 委員長	13:20
3 詩吟	ほしぞら吟詠会	13:30
4 合唱	歌声サークル クリスタル	13:40
5 八重山舞踊	うつくしみ芸能サークル	13:50
6 合唱	グルッポ カサブランカ	14:00
7 ハワイアンフラ	アロハ プッワイ	14:10
8 合唱	アンサンブルローズ	14:20
☆ 休憩	休憩 ～ 14:40	
9 詩吟	くもじ吟声会	14:40
10 合唱	新日本婦人の会シーサー班	14:50
11 合唱	那覇少年少女合唱団	15:00
12 手話ダンス	手話ストレッチダンスひまわり	15:10
13 ハーモニカ	ほしぞらハーモニカサークル	15:20
14 合唱	ドナウ女声合唱団	15:30
15 太極拳	沖縄太極拳研究会	15:40
16 ベリーダンス	ベリーダンス☆サクラール	15:50
17 観劇	観劇サークル	16:00
☆ 休憩	休憩 ～ 16:20	
18 合唱	女声合唱団那覇コール・コスモス	16:20
19 詩吟	牧志吟詠会	16:30
20 合唱	女声合唱団「聖砂」	16:40
21 三線	久茂地三線サークル	16:50
22 合唱	女声コーラス「女董」	17:00
☆ 閉会		17:10

※プログラムに変更がある場合があります。ご了承ください。



7 公民館まつり

第12回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり

事業名 タイトル		プラネタリウムおまつり投影 1. おきなわの昔ばなしと星の投影 2. 開邦高校天文部 プラネタリウム解説にチャレンジ！								
事業概要		1. 幼児から大人まで楽しめる沖縄の昔ばなしと星を投影する。 2. 夜の活動がなかなかできない高校天文部のみなさんに、プラネタリウムを使用して星の解説にチャレンジしてもらう。								
現状・課題		1. 沖縄の星を知る機会が少ない。民話も交えて投影することで沖縄の文化を感じてもらう。 2. 県内各地の高校には天文部が存在するが、夜間の活動を行うのが難しい状況である。								
事業目的 めざす姿		公民館祭りにふさわしい、いつもとは一味違ったプラネタリウムを観覧者に楽しんでもらう。また、高校天文部へ活動の場としてプラネタリウム解説を経験することで、さらに天文学への探求心を持ってもらうとともに、公民館と学生が協働して公共の施設を活用することで広く活動の意義や理解を深めてもらう。								
対 象		どなたでも観覧可								
募集人数等		定員 252人 申込 142人 参加延べ 142人 【申込率56%・参加率56%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	2月8日(土)	13:30	～	14:10	プラネタリウム	53	－	－	－
	02	2月8日(土)	15:00	～	15:40	プラネタリウム	48	－	－	－
	03	2月8日(土)	16:30	～	17:15	プラネタリウム	41	－	－	－
内容	01	おきなわの昔ばなしと星								
	02	おきなわの昔ばなしと星								
	03	高校天文部3人による生解説								
講 師	①②福里美奈子、玉城奈々（プラネタリウム操作技師） ③佐久本和奏、小波津紗瑛、大木亜美（開邦高校天文部）									

【講座の様子・感想】

- ・子どもから大人まで幅広い年代層の人が観覧した。いつもとは一味違った投影を楽しんでもらえた様子だった。
- ・高校生の解説は初めての試みだった。投影終了後に解説をした生徒に「素晴らしかった」などの声をかけてくれた観覧者も多かった。
- ・解説を行った高校生から「部活ではインプットのみだが、やっとアウトプットすることができた」との感想があった。



【成果】

- ・沖縄の明るい民話を交え公民館まつりにふさわしい楽しい投影を行うことができた。
- ・今回、沖縄タイムスの取材がありマスコミが取り上げてくれることで、周りの大人たちが活動を理解して協力してくれるきっかけになると思う。また開邦高校以外の天文部の生徒たちもプラネタリウムに興味を持ってもらえたと思う。
- ・プラネタリウムのある公民館として学習活動の場を提供できた。

